

複製証明書

これはギリシャ共和国に代わってギリシャ文化財団がテッサロニキ（注1）博物館所蔵の展示品 BK855/18 を複製したものであることを証明します。

ギリシャ共和国文化省

ギリシャ共和国文化省 ギリシャ文化財団

248. Glazed Clay Bowl（上薬のかかった陶器）

この器は内部に葉のついた樹木が刻まれていて、ビザンチン（注2）後期の教会用器具に属する。この時期の器は上薬技術により光沢があり、水を通さないようになった。上薬を掛ける工法はパラオロゴイ（注3）後期に進歩したのだが、それより以前に北イタリアの西ヨーロッパ人が東方の技術を持ち帰って一般的になっていたようである。

出処：ギリシャ テッサロニキ州 アギア・ソフィア教会

所蔵：テッサロニキ ビザンチン文化博物館

管理番号：BK855/18

14世紀

複製方法：轆轤・メタリックカラー使用

（注1） テッサロニキ ギリシャ北部の県および県都の名前。

（注2） ビザンチン帝国（東ローマ帝国） ローマ帝国分裂して西暦4世紀末にビザンチン＝コンスタンチノープル＝現イスタンブールを首都として栄えた帝国。ビザンチン様式という独特な文化を生み出した。

（注3） パラオロゴイ 13世紀後期から14世紀半ばまでの間ビザンチン帝国の王であった一族の名前。